

# ダイバーシティが 企業を支える 新たな社会モデルの構築



2030年までの国際開発目標「2030アジェンダ」では、持続可能な開発目標（SDGs）として17の普遍的（ユニバーサル）な目標を掲げています。ノーマライゼーションの実現に向け、多様な人々の雇用参加を可能にするプロジェクトや高齢者社会ならではの新たな社会モデルの提言などをご紹介するセミナーです。ぜひご参加ください。

## Profile

### 近藤 武夫 氏

(東京大学先端科学技術研究センター・准教授)

熊本県山鹿市生まれ。博士(心理学)。広島大学教育学研究科助教、米国ワシントン大学計算機科学工学部客員研究員を経て現職。多様な障害のある人々を対象に、教育や雇用場面での支援に役立つテクノロジー活用や合理的配慮とその地域実装に関する研究、産学官連携による超短時間雇用システムなど、インクルーシブな雇用制度のあり方に関する研究を行っている。著書に「やさしい雇用へのアプローチ 自治体初！川崎市 週20時間未満の障害者雇用・就労の実践(2019年、著・監修、川崎市)」「学校でのICT利用による読み書き支援: 合理的配慮のための具体的な実践(2016年、編著、金子書房)」「知のバリアフリー(2014年、共著、京都大学出版会)」など。

### 檜山 敦 氏

(東京大学先端科学技術研究センター・講師)

熊本県出身(熊本高校卒)。2006年東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了。博士(工学)。東京大学IRT研究機構特任助教、東京大学大学院情報理工学系研究科特任講師を経て、現在、東京大学先端科学技術研究センター講師。2017年4月より理化学研究所革新知能統合研究センターチームリーダーを兼務。ヒューマンインタフェース、複合現実感、ロボティクスをはじめ、超高齢社会が直面する諸課題にアプローチする情報通信技術の研究に取り組んでいる。著書に『超高齢社会2.0 ~クラウド時代の働き方革命~』(平凡社新書)。シニアの柔軟な働き方を推進するジョブマッチングAI、心身を活性化するVRシステムなどの研究成果を社会の中で実証評価する形で研究を展開。

### 吉田 道広 氏

(熊本県立熊本はばたき高等支援学校・校長)

1985年より熊本県内養護学校(知的障害)、盲学校教諭として勤務。県教委指導主事を経て、2009年から文部科学省特別支援教育調査官。2014年から県教委審議員を経て、現職。

### 吉田 周生 氏

(熊本県中小企業家同友会・障がい者雇用支援委員長)

2006年熊本県中小企業家同友会に入会後、2008年障がい者雇用支援委員会を設立し、初代委員長を務める。その後、熊本県中小企業家同友会副代表理事を務め、2018年より障がい者雇用支援委員長に再任される。

### 倉田 賀世 氏

(熊本大学法学部・教授  
熊本県社会福祉審議会  
高齢者福祉専門分科会  
保健福祉推進部会  
・部会長)

2003年北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位修了。博士(法学)北海道大学、北海道大学法学部助教、関西外国語大学講師を経て現職。最近の業績として「働き方改革における育児・介護支援の意義と課題」ジュリスト1525号、2018年「社会保障における「教育」の位置づけ」週間社会保障3018号2019年等。

## 参加申込用 F A X 送信票

熊本県生涯現役促進地域連携協議会 行

送信日 令和元年 月 日

FAX番号: 0 9 6 ( 3 2 7 ) 8 7 7 8 E-Mail: info@ultra65plus.jp

- 申込書を送信いただいた方の所属・氏名・連絡先について記入し、上記ファックス番号へ送信、またはメールでお申し込みください。

所属名 ( ) 氏名 ( )  
TEL番号 ( ) FAX番号 ( )

- 受付完了、受講決定の連絡はいたしません。ただし、定員に達した後にお申込みいただいた方には、定員に達した旨をご連絡させていただきますので、日中の連絡先をご記入ください。

	所属名(市町村・団体・施設等) ※特にない場合は不要	役職 ※特にない場合は不要	(ふりがな) 氏 名	日中の連絡先 (固定電話・携帯電話)
1				
2				
3				

### ○ 申込締切

締切は11月12日(火)ですが、定員に達し次第締め切らせていただきます。  
※ご提供いただいた個人情報は、本目的以外には使用しません。